

# 特集

## ごみの分別とリサイクル

# さよなら、 使い捨て社会

『環境の世紀』といわれる21世紀。  
大量生産・大量流通・大量消費・大量廃棄といった  
社会経済システムが問い直されています。  
廃棄物を見方を変えれば資源。  
今月号では、これまで廃棄されていた資源を  
再利用へと循環させ、環境への負荷の少ない  
『循環型社会』の実現に向けた取り組みや  
問い合わせの多いごみの分別方法などを  
お知らせします。

### 使い捨て社会から 循環型社会へ

今、全国各地でごみの問題は深刻化しています。

ダイオキシン類の発生や重金属などによる環境への負荷、廃棄物の増大に伴う処理体制、最終処分場の確保の問題など、大量生産・大量流通・大量消費・大量廃棄といった従来の社会経済システムを見直さなくてはならない時期に至っています。

また、限りある資源を大量に使用し、廃棄を続けることは、次世代の発展を妨げてしまうことにもなりかねません。

良好な環境を維持し、持続的な経済成長が両立する社会経済を実現していくため、私たちは排出された廃棄物を単に処理する社会から、廃棄物の発生を極力抑え、発生した廃棄物は環境に負荷を与えないように再利用や再資源化する『循環型社会』への移行を目指さなくてはなりません。

### 市民・事業者・行政が 協力してごみの減量を！

『登別市一般廃棄物  
処理基本計画』改定

登別市では、『使い捨て社会』から『循環型社会』への移行に向けて、ごみの減量やリサイクルを推進していくため、今年4月に『登別市一般

廃棄物処理基本計画』を改定しました。

この改定では、市民、事業者と行政の三者が一体となって協力し、ごみの発生・排出抑制、ごみの再生利用、ごみの適正処理の3つの基本方針を立て、ごみの減量に向けたそれぞれの役割を明確にしています【3ページ上欄を参照】。

現在、市は、この基本計画に基づいて、具体的な取り組みや協力体制などを定めるため、『登別市ごみ減量化行動指針』の見直しを行っています。

### 市民一人ひとりの 取り組みをお願いします

『循環型社会』の実現に向けて、市がいくらか計画や指針を立てても、市民のみなさんの協力がなくては絵に描いたもちになってしまいます。それでは、何から取り組みればよいのでしょうか。

ちょっとした工夫でできる取り組みメニューをご覧ください。

### 市民の取り組みメニュー

— 買い物をするときは —

- ・ 買い物袋を持参する。
- ・ 必要なものを必要な量だけ買う。
- ・ 過剰な包装は断る。
- ・ 資源とエネルギーの消費の少ないものを選び、『使い